

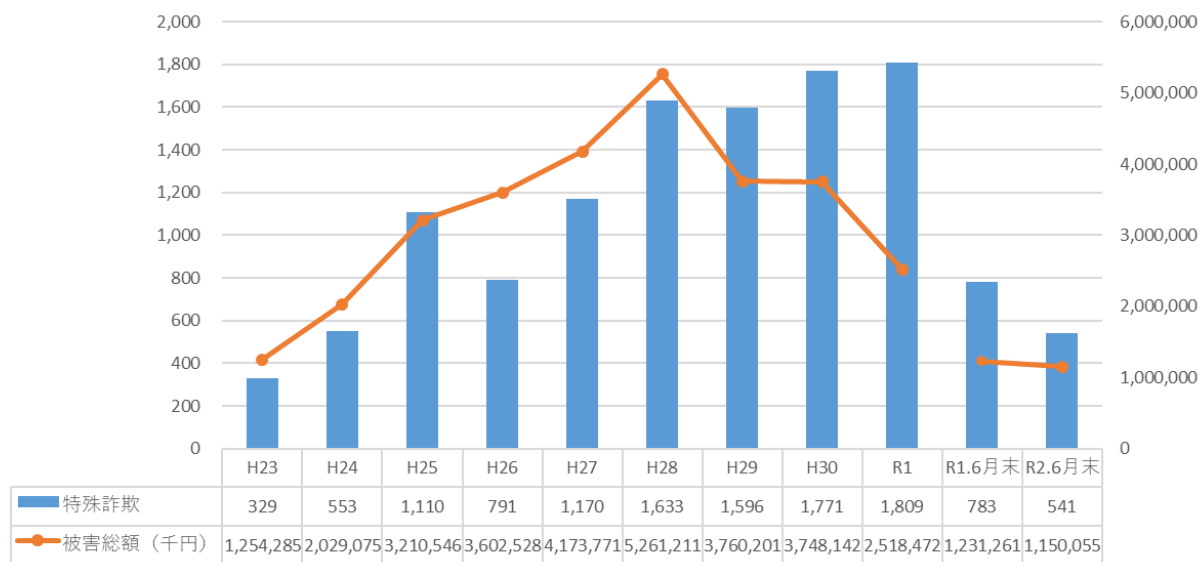


## 特殊詐欺認知状況（令和2年上半期）

大阪府警察より、本年6月末時点における特殊詐欺の認知状況が公表されました。下表のとおり、「オール大阪」による取り組みによって、被害件数、被害金額ともに昨年より減少しています。

特殊詐欺被害の撲滅に向けて、引き続き、被害の未然防止にご協力をお願いします。

### ★認知件数及び被害金額の年別推移



※平成30年以降は、キャッシュカード詐欺盗を含む

### ★認知件数及び被害金額【暫定値】

認知件数	令和2年 (6月末)	令和元年 (6月末)	増減	
			件数	増減率
特殊詐欺全体	541	783	-242	-31%
オレオレ詐欺	23	147	-124	-84%
預貯金詐欺	231	295	-64	-22%
架空料金請求詐欺	116	101	15	15%
融資保証金詐欺	21	15	6	40%
還付金詐欺	89	65	24	37%
金融商品詐欺	1	0	1	-
交際あっせん詐欺	0	0	0	-
ギャンブル詐欺	4	2	2	100%
その他の特殊詐欺	0	0	0	-
キャッシュカード詐欺盗	56	158	-102	-65%

被害金額 (千円)	令和2年 (6月末)	令和元年 (6月末)	増減	
			金額 (千円)	増減率
特殊詐欺全体	1,150,055	1,231,261	-81,206	-7%
オレオレ詐欺	99,265	417,103	-317,838	-76%
預貯金詐欺	296,668	260,451	36,217	14%
架空料金請求詐欺	563,196	223,583	339,613	152%
融資保証金詐欺	20,447	24,379	-3,932	-16%
還付金詐欺	88,611	73,541	15,070	20%
金融商品詐欺	3,000	0	3,000	-
交際あっせん詐欺	0	0	0	-
ギャンブル詐欺	4,050	34,390	-30,340	-88%
その他の特殊詐欺	0	0	0	-
キャッシュカード詐欺盗	74,818	197,813	-122,995	-62%

※キャッシュカード手交型及び窃取型の特殊詐欺におけるATMから引き出された被害金額を含む

チェック

- ◆ オレオレ詐欺の認知件数及び被害金額が大幅に減少した。
- ◆ キャッシュカード詐欺盗の認知件数及び被害金額が大幅に減少している。
- 架空料金請求詐欺（未払い料金などの架空事実を口実としたもの）が増加傾向にあるので注意！
- 還付金詐欺（税金還付等を装い、被害者にATMを操作させるもの）が増加傾向にあるので注意！
- 被害者の約8割が65歳以上の高齢者が占めており、防犯機能付電話機の活用など電話にでない対策が効果的である！